

2020年度事業計画

I. 取り組み方針／事業概観図	1
II. 各事業の取り組むべき課題と主な取り組み	2
III. 理事会・総会等の主要スケジュール	6
IV. 具体的取り組み	
1. 委員会	7
2. 九州地域戦略会議	14
3. 懇談会等	15
4. 事務局	16
(付1) 海外調査団・経済交流訪問団派遣等	17
(付2) 関連団体の活動	18

2020年3月

I 取り組み方針・事業概観図

1 取り組み方針・視点

本年度は中長期事業計画（2015～2020年度）の仕上げの年として、当会のミッション「Move JAPAN forward from 九州！」の気概をもち、以下の方針及び視点で事業活動に取り組むことで、各分野が共創しつつ次世代の豊かな未来に繋がる実績づくり、ひいてはSDGs[※]の達成に寄与する。

※Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

Move JAPAN forward from 九州！

<方針>

九州から日本を動かす気概で、
『実績づくり』を使命として、
“九州の強みを活かした”地方を創生する

<視点>

～九州一体～

1. 民間の事業意欲を喚起
2. 成果重視
3. 連携（地域、産学官、企業・産業）
4. グローバル

2 事業計画概観図



Ⅱ 各事業の取り組むべき課題と主な取り組み

1 新型コロナウイルス感染症に関する対応

新型コロナウイルス感染症の終息に向けて、関係先とも連携して対応するとともに、同感染症が与える経済活動への影響などについて適宜情報収集を行い、関係各所に要望するなど遅滞なく対策を講じる。

2 産業振興



新事業創出、社会課題の解決に向けた地域協働プロジェクトの推進

KPI：開発実績 2 件

- 長崎県大村市：データプラットフォーム構築
- 大分県別府市：立命館アジア太平洋大学（APU）との産学連携プロジェクト、別府ツーリズムバレー構想支援
- 鹿児島県鹿児島市：鹿児島発オープンイノベーションプロジェクト組成

官民データ連携と活用

- 九州地域戦略会議における「九州 AI データコンソーシアム（仮称）」の設立

航空宇宙産業の育成

KPI：新規参入 1 件

- 航空機部品クラスター参入及び販路拡大支援
- 内之浦射場活用機会促進に向けた研究活動

九州ベンチャー・エコシステムの構築

- 九州ベンチャーを支えるコミュニティの創出（地域のスタートアップをオール九州で支援）

「九州未来エネルギー戦略」の具現化

KPI：戦略毎に 1 アライアンスを組成

九州における Society5.0 実現に向けた課題解決支援

- ICT に関する動向や導入事例等の調査・研究を実施するとともに、他の委員会と連携して ICT 利活用による課題解決を支援

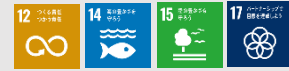
Society5.0 実現に向けたセキュア^{*}な社会の構築や ICT 人材の育成

KPI:社会人向けリカレント教育の場を創出 1 件

- サプライチェーンに対するサイバーセキュリティ意識の向上並びにセキュリティ対策の普及啓発の実施
- 産学連携による産業振興に資する人材育成の継続（学生と社会との接合及び社会人の学び直しの場を創出）

※セキュア：システムやネットワーク、データなどが安全な状態に保たれていること

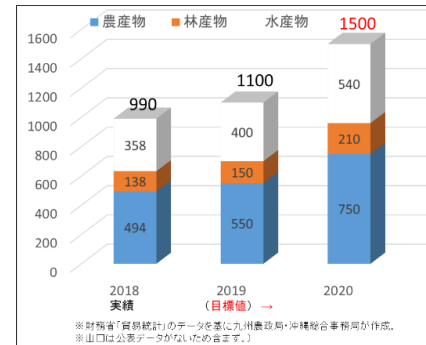
3 農林水産業の振興



KPI：2030年までに農林水産物・食品輸出額 5,500 億円（九州）

九州の農林水産物販路拡大に向けた支援

- 高価格帯の木材輸出の実現
- 九州木造ビル構造標準モデルの普及促進
- 九州食堂事業（地産地消事業）の実施・浸透
- 地域商社プラットフォーム設置による協働事業の実施
- 輸出促進のための GAP※取得拡大や MOU に基づく輸出拡大支援



※GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）：

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み

生産性向上並びに労働負荷低減に向けた新技術導入支援

- 林業イノベーションの推進に向けた企業間マッチングの実施
- 九州地域戦略会議と連携したスマート農業の普及拡大

4 観光振興

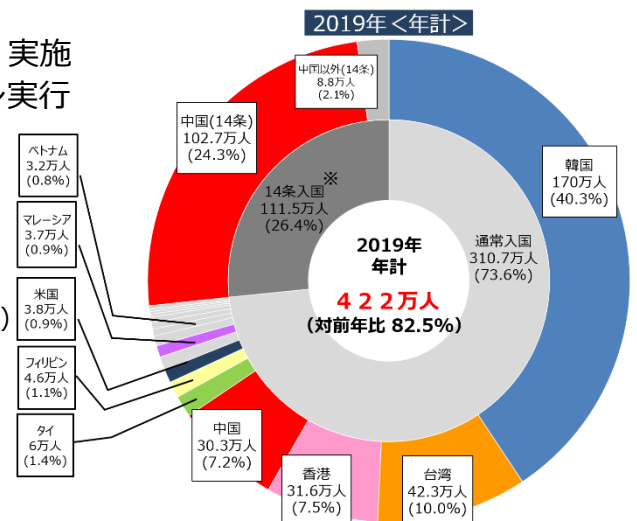


KPI：観光消費 3.3 兆円 延泊者数 5,441 万人/泊 直接入国者数 580 万人

インバウンドの多様化 ～ 欧米豪&中国インバウンド誘致強化

- 九州における IR 実現に向けた支援
- 西日本地区広域観光連携の実行
- 「九州・食のプロモーション in Paris」実施
- グローバル MICE の共同プロモーション実行
- サイクルツーリズム
「ツール・ド・九州（仮称）」実施に向けた準備

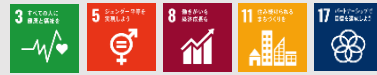
※14条入国：出入国管理及び難民認定法（入管法）に規定された外国人の上陸のうちの特例上陸の一つ。72時間以内の寄港地上陸のこと。



観光インフラの整備

- 航空路線の維持拡大に向けた空港間連携プログラムの実行
- 観光人材の育成に向けた大学への観光カリキュラム導入推進

5 雇用／医療問題への対応



九州における多様な人材の活躍機会確保

KPI : 女性管理職の割合 7.7%

- 女性管理職の登用促進などをテーマとする「KYUSHU NEXT」を継続し、多様な働き方推進に向けた企業の取り組みを支援
- 特定技能活用による外国人材雇用促進に向けた送り出し事業者紹介の実施

医療機関の外国人患者受入対応力向上支援並びに医療ツーリズム受入医療機関不足の解消

KPI : 医療ツーリズム受入医療機関新規 5 件獲得

- 医療機関における外国人患者受入体制支援
- 医療ツーリズム受入医療機関開拓及び中国富裕者層開拓のための体制構築

6 社会インフラの整備



九州新幹線西九州ルート開通の促進

- 新幹線の最大活用方法（二次交通アクセス等）に関する関係者間の協議促進

九州域内空港の有効な利活用

- 福岡・北九州・佐賀空港など域内各空港間の連携促進

持続可能な地域公共交通ネットワーク構築の促進

- 新モビリティに関する最新情報の提供と情報交換・ベンチャー企業等の出会の場を創出
- 経済的に自立可能な事業モデルに関する研究会の立ち上げ

7 海外ビジネス拡大に資する国際経済交流の推進



KPI:九州の対世界輸出額 前年比 5%UP 7.2 兆円（前年 6.9 兆円）

「九州プロモーションセンターin ハノイ」の開設

施設概要

- ・ハノイの一等地にベトナム外務省所管の国有施設を 2 棟借用
- ・九州の企業や団体が入居する「オール九州のシンボルタワー」
- ・九州の情報発信や現地ビジネス情報収集の拠点
- ・多くのビジネスマン利用によるシェアオフィスとしての運営



第 19 回環黄海経済・技術交流会議による日中韓三国間協力の促進

- 三国間での課題解決と新規ビジネスの創出

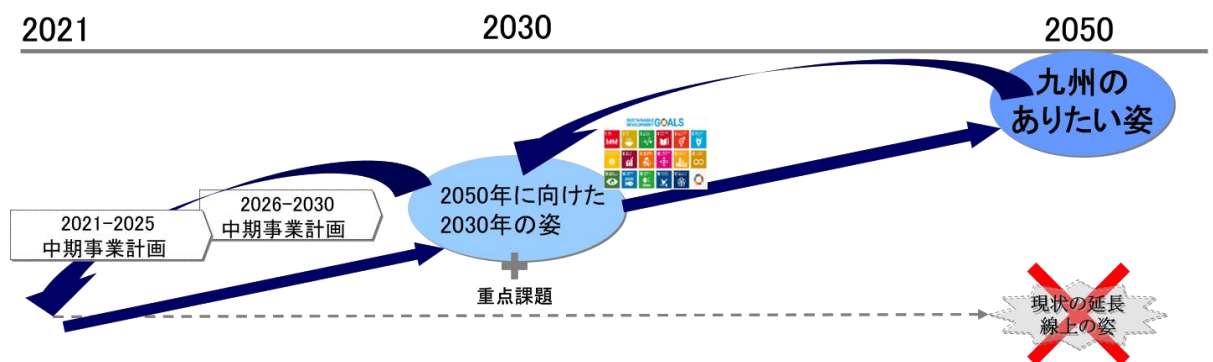
シンガポールへの経済交流ミッション団派遣

- 九州企業のビジネス拡大と現地企業の九州への投資促進

8 事務局の取り組み

九経連 60 周年事業「九州将来ビジョン」策定

- 当会が 2021 年に創立 60 周年を迎えるにあたり、次の 30 年の発展を確実なものとするべく、2050 年の九州の将来像として「ありたい姿」を描き、その実現に向けた重点課題を設定



九経連ブランドに資する広報戦略の展開

- 本会の活動内容及び意見について効果的に発信するとともに、九州地域戦略会議や地域委員会等を活用して地域のニーズを把握し、九経連ファン拡大に繋がる戦略的な広報活動を展開

Ⅲ 理事会・総会等の主要スケジュール

2020年

5月	理事会（15日、福岡市） 九州地域戦略会議（21～22日、宮崎県）
6月	定時総会、理事会（12日、福岡市）
8月	九州地域戦略会議・夏季セミナー（3～4日、沖縄県）
10月	理事会、理事・審議員合同会議、新入会員交流会（1日、福岡市） 西日本経済協議会総会（20日、愛媛県松山市） 及び要望活動（11月19日、東京） 九州地域戦略会議（29～30日、山口県）
12月	沖縄連携フォーラム（沖縄県） 顧問会（東京都）

2021年

2月	正副会長・委員長会議（福岡市） 九州経済懇談会（経団連との懇談会）（19日、福岡市）
3月	理事会（福岡市）

IV 具体的取り組み

1 委員会

(1) 資源エネルギー・環境委員会（事務局：産業振興部）

エネルギー・環境に関する見通しを見極めるとともに、九州における地勢的な強みを踏まえ、行政とも連携しつつ更なる技術革新や社会実装の実践、国内外への積極的なアピールを図る。

① 「九州未来エネルギー戦略」の具現化

KPI：1戦略1アライアンス

- ・本委員会提言（2020年3月策定）を踏まえ、具体的な戦略分野の絞込みや戦略実行アライアンスを形成

九州の未来のエネルギーに関する提言

- 1) 再エネの主力電源化：地勢的に優位な太陽光・地熱等の拡大・有効利用
- 2) 蓄エネの社会実装：電池・水素等を活用したエネルギー・マネジメントの実装
- 3) 脱炭素化の面的展開：業種・エリア一体化、電化・メタネーションガス利用等によるスマート社会の実現
- 4) 原子力の着実な運用：原発の安定運転や人材確保を通じた3E+S[※]の着実な達成
- 5) 環境金融の啓発：環境ブランド「Future Zero-emission Kyushu(案)」の構築とESG資金循環の拡大

※3E+S：「エネルギー基本計画」に示されたエネルギーの安定供給(Energy Security)、経済効率性(Economic Efficiency)、環境への適合(Environment)、安全性(Safety)から成る日本のエネルギー政策の基本となる概念

② 再生可能エネルギーの産業化推進

- ・九州地域戦略会議「再生可能エネルギー産業化アクションプラン(2015-2030)」の官民一体フォロー

③ エネルギー・環境の最新動向に関する情報発信

(2) 産業振興委員会（事務局：産業振興部）

次代の産業体系に向けて産学官連携によるインキュベーション活動※を行いイノベーションの誘発と産業の高付加価値化を図り、九州の産業再構築と地域課題解決を目指す。

※インキュベーション活動： 旗振り、仕組み作り、マッチング、啓発、情報発信、政策要望等

① 新事業創出、社会課題の解決に向けた地域協働プロジェクトの推進

KPI:開発実績2件

- ・データプラットフォーム構築（長崎県大村市）
- ・APUとの産学連携プロジェクト、別府ツーリズムバレー構想支援（大分県別府市）
- ・鹿児島発オープンイノベーションプロジェクトの組成（鹿児島県鹿児島市）

② 九州企業・自治体が個別に保有するデータの連携・活用促進

- ・「九州AIビッグデータコンソーシアム（仮称）」の創設（九州地域戦略会議への働きかけ）

③ オール九州でのベンチャー・エコシステムの構築

KPI:有望な大学シーズへのギャップ資金提供：8,400万円

- ・大学発ベンチャーの実践的支援
- ・「StartupGoGo2020」、「九州・山口ベンチャーマーケット2020」の開催などオープンイノベーションの促進
- ・九州一体の恒常的なベンチャー支援の仕組み構築（地域のスタートアップをオール九州で支援）

④ 中堅・中小企業の生産性向上の取り組み支援

- ・AI・IoT/ロボットなどを活用する企業の先進事例調査と導入拡大に向けた各種施策の実施

(3) 観光委員会（事務局：観光・サービス産業部）

以下の基本方針を基に、九経連ならでの観光事業を展開する。

1. インバウンドチャネルの多様化による数の積み上げ
2. 欧米豪&中国誘致の為の多面的な仕掛け
3. インバウンド滞在時間を延ばす仕組みづくり
4. 観光による地方の活性化
5. 九州グローバル MICE の誘致強化

KPI：観光消費額 **3.3兆円**（2019年 2.75兆円）

インバウンド（直接入国者数） **580万人**（2019年 422万人）

- ① **高級ホテル誘致**
 - ・九州内のホテル誘致情報一元化の推進
 - ・顕在案件のクロージング推進
- ② **九州 MICE の強化**
 - ・九州内 IR 区域認定に向けたサポート
 - ・九州 MICE 誘致組織実現の取り組み
 - ・グローバル MICE 合同誘致プロモーションの実施
- ③ **多角的なインバウンド誘致**
 - ・西日本観光広域連携の実施
 - ・「九州・食の商談会 in Paris」開催による九州ブランドの浸透
 - ・タイムリーなインバウンド誘致団の派遣
- ④ **観光による地域活性化プロデュース**
 - ・地方航空路線連動による双方向交流の活性化
 - ・サイクル・ツーリズム活性化～サイクル・イベント開催へ向けた準備
- ⑤ **航空路線の維持・拡大**
 - ・空港間連携の推進
- ⑥ **観光人材の育成**
 - ・域内大学への観光学カリキュラム導入推進

(4) 農林水産委員会（事務局：農林水産部）

MOU を活用した農林水産物のアジア等への輸出促進や、地産地消事業による販路拡大、IOT や AI 等を活用した効率化や生産性向上への取り組み支援を通じて、生産者所得の増大及び魅力向上を図り、九州の第一次産業の持続的発展を目指す。

KPI：農産物 750 億円 林産物 210 億円 水産物 540 億円（輸出額）

（※2020 年 KPI：九州の港等からの農林水産物・食品の輸出額）

- ① **九州の農林水産物・食品の販路拡大のための輸出促進に向けた取り組み**
 - ・地域商社プラットフォームである「九州の食輸出協議会（仮称：九州農水産物直販など計 5 社が参画）」を中心に、九州各県等関係機関と協働で、海外での商談会展やバイヤー招聘による農産物・食品のマッチング事業を実施
 - ・香港、シンガポール、台湾をはじめ、MOU 締結先の中国（山東省、上海）等、海外への農林水産物の輸出拡大に向けた取り組み
 - ・「九州沖縄スマートフードチェーン研究会」と連携し、輸出課題の解決に取り組むとともに、マーケットインによる輸出品の生産・販売を強化
- ② **「九州食堂」事業（社食並びに出張販売で地産地消事業）の実施**
 - ・企業の社員食堂、学食、県庁食堂等において九州産の食材を利用した地産地消メニューを提供及び社屋等で直売事業を実施し、内需拡大を図るとともに健康経営の取り組みを促進

- ③ **生産性向上と労働負荷軽減のためのスマート技術導入支援**
 - ・九州地域戦略会議等における IoT や AI 等の新技術を活用したスマート農業への取り組み促進（モデル農場での実証継続と横展開）
 - ・官民連携による林業イノベーション事業に対する支援協力（モデル企業・地域の拡大による実証研究など）
- ④ **木材の国内利活用推進と輸出促進による海外展開支援**
 - ・「九経連木造ビル構造標準モデル」を活用した非住宅建築物（社屋・公共建築物等）への木造化・木質化導入の取り組み促進
 - ・展示会での九州産材 PR や海外バイヤー招聘による商談会の実施
- ⑤ **災害に強い山林づくりと持続可能な林業に向けた取り組み支援**
 - ・森林環境譲与税の有効活用や再造林・森林保全対策など災害に強い山林づくりのための調査・提言
- ⑥ **水産業の国際競争力強化に向けた取り組み支援**
 - ・養殖業の成長産業化を中心とする新たな「水産業アクションプラン」の策定
- ⑦ **農林水産業の振興に関する要望活動**
 - ・九州エリアの農林水産業の発展に必要な国の施策支援等について、農林水産省他関係当局に対する要望活動を実施
- ⑧ **農林水産事業者の経営力等の強化**
 - ・農林水産業における先進的な取り組み事例の視察会や、国際競争力強化（GGAP など）に関する講演会の実施
- ⑨ **後継者不足や耕作放棄地問題への取り組み支援**
 - ・域外からの農業参入の促進に向けて各県と連携した「企業による農業参入セミナー in 東京」の開催

(5) 情報通信委員会（事務局：社会基盤部から産業振興部へ移管）

Society5.0 の実現に向け、働きやすく住みやすいまちづくりを支える社会基盤の整備促進、サイバーセキュリティ対策の推進、並びに産業振興に資する人材育成や ICT の利活用によるビジネス創出や地域情報化支援等に取り組む。

- ① **Society5.0 の九州での実現に向けた課題解決支援**
 - ・ICT に関する動向や導入事例等の調査・研究を実施するとともに、他の委員会と連携して ICT 利活用による課題解決を支援
- ② **Society5.0 実現に向けたセキュアな社会の構築**
 - ・サプライチェーンに対するサイバーセキュリティ意識の向上並びにセキュリティ対策の普及啓発の実施（サイバーセキュリティセミナー等）

③ Society5.0 時代に必要な ICT 人材の育成

KPI:社会人向けリカレント教育の場を創出 1 件

- ・産学連携による産業振興に資する ICT 人材育成事業（学生向け実践インターンシップ事業、社会人向けセキュリティ人材育成事業への参画、社会人向けデータ利活用人材育成事業への参画）の実施

④ Society5.0 の実現に向けた地域情報化支援

- ・情報化推進関連機関と連携し、域内の産業活性化に資する地域情報及び ICT 技術者育成に関する支援活動を実施
- ・情報通信委員会・情報通信企画部会等において、ICT のトレンド（5G、IoT、ビッグデータ、AI 等）に関する情報を発信

(6) 交通委員会（事務局：社会基盤部）

「アジアに近い九州」という強みを活かした産業振興や九州の一体的な発展に資する社会基盤を整備するため、アジアのゲートウェイとしての機能向上や循環型高速交通網の整備促進等を推進する。

① 九州新幹線西九州ルート開通の促進

- ・2 年後（2022 年度）に控えた部分開業（長崎～武雄温泉間）に向け、沿線関係者と共に、開業気運の盛上げや経済活性化等への取り組みを支援
- ・全線開通を視野に、新幹線の最大活用方法や沿線の経済活性化に資する取り組みを関係者と協議促進

② 九州域内空港間の連携強化と利便性向上及び利活用推進

- ・福岡・北九州・佐賀空港など各空港の課題解決支援
- ・九州地域戦略会議 P T（J E W E L S +）での空港間連携推進に係る検討の推進

③ 持続可能な地域公共交通ネットワーク構築の促進

- ・モビリティ関連団体や事業者等と連携した新モビリティに関するシンポジウムを開催し、最新情報の提供と情報交換・ベンチャー企業等の出会いの場を創出
- ・経済的に自立可能な事業モデルの検討等を行う研究会の立ち上げ、並びに国などの実証実験への参画促進

④ 交通基盤の整備に向けた要望活動の着実な実施

<道 路>

i) 循環型高速道路の早期整備

- a 高規格幹線道路：東九州自動車道、九州中央自動車道、西九州自動車道、南九州西回り自動車道など
- b 地域高規格道路：有明海沿岸道路、中津日田道路、中九州横断道路、下関北九州道路、島原・天草・長島架橋構想など

ii) 高速道路の休憩施設多元化に向けた一般道「道の駅」利活用施策の拡充

- ・高速道路における休憩施設の不足解消に向けた一般道休憩施設（「道の駅」など）への一時退出可能化
- ・「道の駅」の広域的な利用者増加による地域活性化に向けた施策の拡充

<空 港>

i) 地域拠点空港としての確実な整備

- ・アジアのゲートウェイとしての役割を果たすため、福岡空港の近隣空港である北九州空港、佐賀空港それぞれの課題を把握
- ・アクセス利便性向上、滑走路延長、必要施設の充実など

<鉄 道>

i) 地域間格差の是正

- ・人流及び産業経済の活性化を目指し、九州新幹線西九州ルートへの2022年度の確実な部分開業開始
- ・日豊本線高速化のための複線化及び東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

<港 湾>

i) アジア向け拠点港湾としての機能向上

- ・アジア向け拠点港湾としての機能向上に向けて、国際旅客船拠点形成港湾における施設の整備促進や諸施策の実施など

(7) 国際委員会（事務局：国際部）

九州がアジア等海外諸国の成長とともに発展するため、海外政府機関・海外経済団体との間で締結した MOU（11 か国・地域）等を活用し、九州の中小企業等の海外ビジネス展開の実現に向けた環境整備や対日投資の誘致、諸外国とのネットワーク強化を図る。

KPI：九州の対世界輸出額 前年比 5%UP 7.2 兆円（前年 6.9 兆円）

① 九州企業の海外ビジネス展開の支援

- ・九州とベトナム間の経済交流や観光促進、人材交流に係る情報の発信拠点となる「九州プロモーションセンターin ハノイ」の開設に向けた支援
- ・農林水産委員会や官公庁等と連携し、中国主要都市における販路開拓事業を実施

② アジア各国・地域と締結した MOU 等を活用した経済交流の拡大

- ・3年ぶりのホスト国として熊本で開催する「環黄海経済・技術交流会議」などアジア各国・地域との交流事業の実施
- ・シンガポールビジネス連盟(SBF)との MOU に基づき、シンガポールに経済交流ミッションを派遣し、九州企業のビジネス拡大を図る
- ・ベトナム、フィリピン、ミャンマー、タイなど会員の関心が高い国やテーマに関するセミナーや交流事業の実施

(8) 行財政委員会（事務局：企画調査部）

域内企業の競争力強化と地域経済活性化を図るため、スマートシティモデル構築の推進や地方創生に向けた提言活動を実施するとともに、行財政に関わる諸課題に取り組む。

① スマートシティの本質に関する企業・団体への理解促進、連携意識の向上 KPI：スマートシティ実証実験の実施（FDCと連携） 1テーマ

- ・社会実装モデルとしての FUKUOKA Smart EAST での自動運転やシェアリング、ヘルステックなどのイノベーションへの理解促進・連携意識を向上させ、九州各地へ横展開

② 社会活動の基盤となる SDGs 経営の普及を促進

- ・九州 SDGs 経営推進フォーラムと連携した、地域企業の持続的な企業価値の向上や社会課題解決による九州地域の持続的発展に向けた各種施策を実施

③ 政府及び関係機関等への要望

- ・地方創生に資するスマートシティモデル構築に向けた「FUKUOKA Smart EAST 推進」に関する提言を関係機関に要望
- ・「自民党予算・税制等に関する政策懇談会」における提言（九州経済連合会各委員会の要望を行財政委員会で集約し提言）

(9) 少子高齢化・雇用委員会（事務局：観光・サービス産業部）

多様な人材の活躍と働き方の活用を促進して企業の対応力向上を支援する。

① 労働力不足解消に向けた多様な働き方の推進

KPI:女性管理職割合 7.7%（全国平均並み）

- ・女性並びにダイバーシティな人材の雇用促進や多様な働き方の促進など、地域が抱える課題について幅広いテーマを参加者が討議する「KYUSHU NEXT」を通じ、多様な働き方の推進に向けた企業の取り組みを支援

② 外国人就労支援

- ・特定技能を活用した外国人材雇用促進のため送り出し機関を紹介
- ・ベトナム介護学部生インターンシップ支援のため受入企業を紹介
- ・Web 就職サイト「Work in Kyushu」による留学生、企業のマッチングを支援
- ・韓国大卒人材の観光業への就労支援のため雇用募集事業者の開拓を実施

③ 介護離職防止促進

- ・介護職の離職率低減に向けて制度を利用できる環境整備、働き方改革促進等による仕事と介護の両立や長く勤められる企業風土づくりを促進

④「九州国際医療機構」を通じた地域創生

KPI：医療ツーリズム受入医療機関新規5件獲得

- ・外国人患者受け入れに対する課題達成に向けた医療機関の外国人患者対応力向上のためのセミナー、研修会を実施
- ・医療ツーリズム体制整備に向けた受入医療機関の開拓並びに受入れ体制強化
- ・中国の関係機関との連携構築のため、九州の医療機関と協働し、「中国国際医療渡航展示会（北京開催）」へ出展

(10) 関門連携委員会（事務局：社会基盤部）

九州と山口の連携を強化し、両地域の一体的発展を図るため、下関北九州道路の早期実現を目指し、整備促進大会や要望活動を展開しつつ、産業振興を図る(中国経済連合会との合同委員会につき、同連合会との連携による。)

① 下関北九州道路の早期実現

- ・「下関北九州道路建設促進協議会（事務局：九経連）」、「下関北九州道路整備促進期成同盟会」などと連携し、下関北九州道路の早期実現に向けた要望活動を実施

(11) 各地域委員会（事務局：総務広報部）

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根ざした魅力ある九経連活動を展開する。

- ① 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
- ② 講演会、視察会等による調査研究、会員意見交換会を通じた地域課題の抽出と九経連活動への反映
- ③ 会員相互の交流・連携の促進

2 九州地域戦略会議

(1) 九州地域戦略会議

第37回：2020年 5月21日～22日（宮崎県宮崎市）

第38回：2020年10月29日～30日（山口県、場所未定）

○ 官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的施策を推進する。

- ・メンバー：九州地方知事会（各県知事）、九経連会長及び会長が指名する者、九州商工会議所連合会会長及び会長の指名する副会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長

- ・テーマ：「第2期九州創生アクションプラン（JEWELS+）」（しごとづくり、新技術挑戦、人材活躍、次世代育成、地域活力づくり、安心・安全）のフォローアップ 等

(2) 第17回夏季セミナー

〔2020年8月3日～4日（沖縄県）〕

- 産官学のトップリーダーが一同に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成し、様々な課題について討議・提言を行う。
 - ・メンバー：九州地方知事会（各県知事以下三役等）、域内大学学長、各県議会議長、経済4団体の会員企業など

3 懇談会等

(1) 沖縄連携フォーラム（2020年12月/沖縄県）

- 沖縄県経済団体会議との共催により、九州・沖縄の連携と両地域の相互理解、共通課題について意見交換、検討を行うとともに、交流を図る。

(2) 九州経済懇談会（2021年2月19日/福岡市）

- 日本経済団体連合会(経団連)との共催により、わが国並びに九州地域が当面する課題について、意見交換する。

(3) 産学連携懇談会（2020年5月15日/福岡市）

- 九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換する。

(4) 九州経済を考える懇談会

- 九州の経済団体*の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について議論する。（年3回程度）

※九州の経済団体：九州経済連合会、九州オープンイノベーションセンター、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州経済調査協会

4 事務局

(1) 全体的な取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症の終息に向けて、関係先とも連携して対応するとともに、同感染症が与える経済活動への影響などについて適宜情報収集を行い、関係各所へ要望する等遅滞なく対策を講じる。
- ② 2016年熊本地震からの復旧・復興に九州一体となって取り組む。
 - ・関係機関と連携した創造的復興の取り組み
 - ・防災・減災対策強化の推進（企業におけるBCPの策定推進など）
- ③ 2020東京五輪等を活用した九州エリアの活性化対策を実施する。
 - ・文化プログラム（KIMONOプロジェクト、九州・沖縄文化力推進会議等）の取り組みを支援する。
- ④ 九経連60周年事業「九州将来ビジョン」策定

策定の進め方

- ・当会が2021年に創立60周年を迎えるにあたり、次の30年の発展を確実なものとするため、2050年の九州の将来像として「ありたい姿」を描き、その実現に向けた重点課題の設定を行う。
- ・策定に向けては、会員企業役員クラスを中心に、有識者や各種専門家も加えた「九州将来ビジョン検討委員会」及び九経連職員を中心とした「検討WG」を新たに立ち上げる。
- ・加えて、中期・年度事業計画への落とし込み（アクションプランの作成）やフォロー体制整備等、将来ビジョン実現に向けての各種仕組みづくりも進める。

(2) 会員サービス

- ① 国の政策や九経連の取り組みなどを特集し、タイムリーに情報提供する。
- ② 新入会員交流会を開催し、相互交流を図る。
- ③ 九経連「九州女性の会」（会員企業の女性経営者及び女性管理職が参加）の活動を支援する。
- ④ 九経連全体の取り組みに関して会員へのアンケートやヒアリング等を行い、事業計画（中長期、単年度）などに反映する。

(3) 広報

- ① 主要な取り組み、活動スケジュール等をタイムリー、かつ効果的に報道機関に提供する。
- ② ホームページにおいて、九経連の動き・協働プロジェクト情報等を提供、かつ会員情報を充実させることにより、活きた情報を発信する。
- ③ 月報「あすの九州・山口」に寄稿や特集頁を増やして内容の充実を図り、会員にとって役立つ情報誌とする。

(4) 調査・研究等

- ① 域内各県等の取り組み状況を把握し、県域を越えた連携や官民連携などの可能性を探る。
- ② 国家戦略特区に指定された福岡市及び北九州市の「グローバル創業・雇用創出特区」、沖縄県の「国際観光イノベーション特区」の事業等を支援する。

(5) その他

- ① 地域の課題解決に貢献できる高い政策立案能力を持った人材育成に関する九州大学の取り組みに協力する。
(地域政策デザイナー養成講座実行委員会)

(付 1) 海外調査団・経済交流訪問団派遣等

(1) 九州・シンガポール経済交流ミッション派遣

- ・趣 旨： シンガポールビジネス連盟(SBF)との MOU を基に、貿易・物流・金融の分野で東南アジアのハブであり、またイノベーション最先端都市であるシンガポールに訪問団を派遣し、九州企業のビジネス拡大を図る。
- ・時 期： 2021年3月(予定)
- ・派 遣 先： シンガポール
- ・団 員： 会員企業を中心に30名程度
- ・主 催： 九州経済国際化推進機構(事務局：九経連、九州経済産業局)

(2) その他(インバウンドの多様化を目指した観光委員会主管の取り組み)

※いずれも時期等詳細については調整中

- ・「チーム九州」グローバル MICE 合同誘致プロモーション(タイ)
- ・「九州の食」を軸にした「九州・食の商談会」実施(フランス)
- ・九州の温泉事業者を中心とした「温泉会議」調査団の派遣(アメリカ)

※ 北京への九州 PR 訪問団実施

- ・趣 旨： 本会がこれまで要望してきた福岡～北京の直行便開設による人流・物流の活性化・拡大を図る為に、九経連、九州観光推進機構、JATA、自治体等から成る九州 PR 訪問団を派遣し、九州⇄北京の双方向交流活性化を訴求する。
- ・時 期： 調整中
(新型コロナウイルスの終息時期をみて遅滞なく実施)
- ・派 遣 先： 中国(北京)

(付 2) 関連団体の活動

(1) 西日本経済協議会 (幹事：四国経済連合会)

〔 総会：2020年10月20日・愛媛県松山市
要望活動：2020年11月19日・東京都内 〕

- 北陸、中部以西の6つの経済連合会※により、西日本地域の直面する課題を取りまとめ、国等に要望する。

※6つの経済連合会：北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会

(2) 九州・沖縄地方産業競争力協議会

(会 長：九州経済連合会 会長、
事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、九経連 企画調査部)
(2020年7月9日・福岡市)

- 日本再興戦略の趣旨のもと、2014年3月の協議会において九州地方知事会と九州経済界、国の出先機関の3者が議論し取りまとめた「九州・沖縄地方成長産業戦略～九州・沖縄 Earth 戦略～」について、具体的プロジェクトの推進とフォローを行う(目標年度2020年度)。
- 第9回協議会(2020年7月予定)では、2020年の目標に向けた各プロジェクトの課題と今後の展開を示すとともに、2020年度以降の同戦略や具体的なプロジェクトの在り方について議論を行う。

<地域の産業戦略4分野と横断的取り組み(産業人材、創業等)及び、協議会におけるKPI>

- ① クリーン(エネルギー・次世代自動車・環境)分野
 - ・九州における再生可能エネルギーの産業の拠点化等の推進
- ② 医療・ヘルスケア・コスメティック分野
 - ・九州におけるヘルスケア、創薬、バイオ産業等の振興の推進
- ③ 農林水産業・食品分野
 - ・九州の農林水産物等の輸出額を2020年までに倍増(2012年比)
- ④ 観光分野
 - ・九州を訪れる外国人旅行者数を2023年までに786万人に拡大
- ⑤ 横断的取り組み
 - 産業人材戦略：グローバル人材の育成・活用を推進
 - 創業：九州における開業率を、2023年度までに11%にする

(3) 福岡地域戦略推進協議会 (会長：九州経済連合会 会長)

- **福岡地域戦略推進協議会 (Fukuoka D.C.) の活動※に経済界として参画し、意見出しや支援を行う。**

※福岡の地域経済をグローバル化し、活力を維持強化していくため、福岡都市圏を中心とした産学官民が一体となった公共的な場（プラットフォーム）において、地域の成長戦略の策定から実施までを一貫して行う。

(4) 下関北九州道路建設促進協議会

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 社会基盤部)

- **関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現を目指し、以下の活動を実施する。**
 - ① 下関北九州道路の必要性や重要性を広くアピールし、早期実現に向けた機運を一層高めるため、関門連携委員会(九経連、中国経連)、下関北九州道路整備促進期成同盟会などと連携して、整備促進大会を実施
 - ② 計画段階評価への移行に向け、国による調査検討を迅速かつ着実に進めてもらうべく、関門連携委員会、下関北九州道路整備促進期成同盟会などと連携して、要望活動を実施
 - ③ 国土交通省の下関北九州路計画検討会への参画による、情報収集及び提言
 - ④ 事業化のための課題と対応策について、下関北九州道路整備促進期成同盟会などの関係機関と意見交換

(5) 東九州軸推進機構

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 社会基盤部)

- **東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等を目指し、以下の活動などを実施する。**
 - ① 東九州自動車道の全線開通等の早期実現のため、東九州自動車道建設促進協議会と連携して、東九州自動車道建設促進地方大会及び中央大会、提言活動を実施
 - ② 東九州自動車道「清武南～日南北郷間」及び「志布志～鹿屋串良間」、「一般国道220号 日南・志布志道路」及び「一般国道220号 油津・夏井道路」の早期完成、加えて「南郷～奈留間」の早期事業化とともにすべての暫定二車線区間の四車線化、ならびに東九州地域の産業経済の活性化に資する社会資本整備の促進に関する要望
 - ③ 東九州地域における交通インフラの整備促進に係る事業(特別事業)に対する支援・協力

(6) 九州航空宇宙開発推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 産業振興部)

- 航空機産業の育成・拡大と宇宙産業の創出を図るため、九州地域の産学官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援等を行う。

<航空宇宙産業の振興>

- ① 航空機部品等の多行程一貫生産を可能とする航空機部品クラスターを形成・増強し、参入支援並びに販路拡大を支援
- ② 九州域内企業の航空宇宙産業参入促進とレベルアップを支援
- ③ 小型電動航空機の研究開発を促進

<宇宙技術の地域振興への活用>

- ① 衛星データ活用による地域課題解決(一次産業の生産性向上、被災状況の把握等)を促進する産学官プロジェクトの推進
- ② 小型衛星の事業化(大学発ベンチャー等)の活動を支援
- ③ 内之浦射場等の九州域内施設を活用した宇宙技術開発、試験製造、打ち上げ、利用ビジネスのフィールド構築のための環境整備に向けた研究活動

<航空宇宙人材の育成>

- ① 九航協会員企業での会員校学生のインターンシップ受け入れを推進し、航空宇宙人材の育成と地元定着を促進

(7) 九州経済国際化推進機構

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九州経済産業局、九経連 国際部)

- 九州の国際化・グローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県、企業などとの連携を図り、国際会議や海外との交流事業を実施する。
 - ① 3年ぶりのホスト国として熊本で開催する「環黄海経済・技術交流会議」などアジア各国・地域との交流事業の実施
 - ② シンガポールビジネス連盟(SBF)とのMOUに基づき、シンガポールに経済交流ミッションを派遣し、九州への投資誘致プロモーションを実施
 - ③ ベトナム、フィリピン、ミャンマー、タイなどアジア各国・地域とのMOUに基づくセミナーや交流事業の実施
 - ④ EUにおいて、今後輸出のポテンシャルを有する九州産本格焼酎等の認知度向上と販路拡大のため、輸出に関心の高い個社を募り、フランス・パリで現地セミナーや意見交換会、商談会等を実施
 - ⑤ 九経連と上港集団物流有限公司(SIPGL)との間に2019年10月に締結したMOUや日本産牛肉の中国への輸出再開等の動きを契機に、中国主要都市における販路開拓事業を実施
 - ⑥ JICAやジェトロなど支援機関と連携した海外展開支援施策に関する説明会や域内の起業マインドを醸成するためのセミナー等を実施
 - ⑦ 九州の投資・ビジネス環境情報をホームページ等で発信
 - ⑧ グローバル人材活用支援事業の実施

(8) 九州・沖縄文化力推進会議

(事務局：福岡県、九経連 企画調査部)

- **九州・沖縄・山口各地域における文化活動の推進と文化の発信による地域活性化に官民が連携して文化プログラムを実施する。特に、今後開催が決定した大規模国際スポーツイベントを契機に、世界へ向けて日本文化を発信する機運を醸成し、文化事業を推進する。**
 - ① 各大規模国際スポーツイベントと連携した九州・沖縄・山口の各種文化の魅力を発信
 - ② ミュージアム周遊パスの作成及び活用（外国人観光客へも PR）
 - ③ 各県が連携した伝統文化の情報発信や小中学校の修学旅行等における各県文化施設の活用促進

(9) 九州大学学術研究都市推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長、事務局：九州大学学術研究都市推進機構)

- **九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて産学官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進する。**
 - ① 知の交流・創造活動によるイノベーション・エコシステムの構築
 - ② 快適で質の高いライフスタイルを実現する環境整備
 - ③ 世界・アジアとの交流（ネットワーク構築）
 - ④ 九州大学学術研究都市のシティプロモーション

(10) ILC アジア－九州推進会議

(代表：九州経済連合会 会長、事務局：九経連 企画調査部)

- **九州での国際リニアコライダー（ILC）※計画の実現を目指し、行政・大学等との連携を図る。**

※ 国際リニアコライダー(International Linear Collider)：

全長約30～50kmの地下トンネルに直線加速器を設置し、電子と陽電子をほぼ光速度まで加速して衝突させることでビックバン(宇宙のはじまり)直後の状態を再現する大規模研究施設。ヒッグス粒子の性質解明や未知の粒子の発見や宇宙誕生の謎の解明につながると期待される。アジア、北米、欧州が協力し、世界に一か所建設を目指す国際プロジェクト。